

今の子どもたちの姿が成果

小中一貫教育全国サミットin呉

今回で6回目を迎えた小中一貫教育全国サミット（小中一貫教育全国連絡協議会主催）が7月28日と29日の2日間、広島県呉市で開かれ、教育関係者を中心に全国各地から約1900人が参加。実践報告やシンポジウム、授業公開、6つの分科会で熱い議論が交わされました。

問い合わせ先 教育政策課 ☎(36)5099

小中一貫教育の良さを伝える子どもシンポジウム

「小中一貫教育でひろがる子どもたちの『学び』、出会いと教えの中で、志を持って学ぶ子どもたち」をテーマに開かれた今回の全国サミット。9カ年の連続した学びの中で、夢を持ち、その夢を志に高め、自分の道へと進んでいくとすると、呉の子どもたちの姿を示す

自由ヶ丘中学校区での成果を発表

2日目の午前には分科会が開かれました。①特色ある教育活動②授業づくりと指導体制③中学校区単位の学校経営④コーディネーターの役割（組織運営）⑤保護者・地域住民との協働的な取り組み⑥教育委員会の役割と施策をテーマに、各会場で全国各地の取り組みなどが報告されました。

宗像市からは、①特色ある教育活動の分科会で、自由ヶ丘小学校の高木陽一郎先生が発表。「学習規律と授業の進め方を小・中学校でそろえることで、子どもたちの学力も向上しました」と2年にわたる自由ヶ丘中学校区での研究成果を発表しました。

今回の全国サミットには、市から約20人の先生が意欲的に参加し、熱心に学

な進め方について説明するなど、実践報告を通じて意見交換を図りました。
*自由ヶ丘中学校区と河東中学校区の各小・中学校で10月28日（金）に研究発表会を開催します

自由ヶ丘小学校の手塚英樹先生は「授業公開では、中学校の先生が小学校で授業をしたり、小学生と中学生と一緒に授業を受けたりと、さまざまな工夫が見られました。子どもシンポジウムでは、小中一貫教育を子どもの視点から見た良さを知ることができ、今後の宗像市の小中一貫教育の推進に役立つものでした」と感想を話してくれました。

市では、来年度の城山中



分科会で実践報告する高木先生（右端）

自由ヶ丘小学校の先生が小学校で授業をしたり、小学生と中学生と一緒に授業を受けたりと、さまざまな工夫が見られました。子どもシンポジウムでは、小中一貫教育を子どもの視点から見た良さを知ることができ、今後の宗像市の小中一貫教育の推進に役立つものでした」と感想を話してくれました。

自由ヶ丘小学校の手塚英樹先生は「授業公開では、中学校の先生が小学校で授業をしたり、小学生と中学生と一緒に授業を受けたりと、さまざまな工夫が見られました。子どもシンポジウムでは、小中一貫教育を子どもの視点から見た良さを知ることができ、今後の宗像市の小中一貫教育の推進に役立つものでした」と感想を話してくれました。

今回の全国サミットで発表された他自治体の取り組みを、今後の小中一貫教育推進に生かしていきたいと思えます。



子どもシンポジウムの様子

開会行事では、開催地を代表して呉市教育委員会の長谷川晃教育長が「この全国サミットは、子どもが主役です。呉市の小中一貫教育の成果を、子どもたちの育ちの姿で見てほしい」と力強くあいさつ。

続いて開かれた子どもシンポジウムでは、「子どもを感じる小中一貫教育」をテーマに、呉市の小・中学生、高校生5人が登壇。子どもの目線で感じた小中一貫教育の良さを話し合いました。

小学3年生の児童は「小中合同の運動会では、中学生が優しくお世話してくれました。あのような中学生になりたい」と思いました」と発表。会場からの質問に

2日目の午前には分科会が開かれました。①特色ある教育活動②授業づくりと指導体制③中学校区単位の学校経営④コーディネーターの役割（組織運営）⑤保護者・地域住民との協働的な取り組み⑥教育委員会の役割と施策をテーマに、各会場で全国各地の取り組みなどが報告されました。

宗像市からは、①特色ある教育活動の分科会で、自由ヶ丘小学校の高木陽一郎先生が発表。「学習規律と授業の進め方を小・中学校でそろえることで、子どもたちの学力も向上しました」と2年にわたる自由ヶ丘中学校区での研究成果を発表しました。

今回の全国サミットには、市から約20人の先生が意欲的に参加し、熱心に学

な進め方について説明するなど、実践報告を通じて意見交換を図りました。
*自由ヶ丘中学校区と河東中学校区の各小・中学校で10月28日（金）に研究発表会を開催します

自由ヶ丘小学校の手塚英樹先生は「授業公開では、中学校の先生が小学校で授業をしたり、小学生と中学生と一緒に授業を受けたりと、さまざまな工夫が見られました。子どもシンポジウムでは、小中一貫教育を子どもの視点から見た良さを知ることができ、今後の宗像市の小中一貫教育の推進に役立つものでした」と感想を話してくれました。

市では、来年度の城山中



城山中学校 新体操チームと体操チームが九州大会に出場



久芳教育長(左から6番目)らと九州大会での健闘を誓う新体操チーム(左5人)と体操チーム(右3人)のメンバー

県中学校体育連盟（県中体連）の県大会で好成績を収めた城山中学校の新体操チームと体操チームの選手たちが8月4日、宮崎市で開かれる九州大会出場の報告のため久芳昭文教育長を表敬訪問しました。

いずれのチームも、城山中学校の部活動ではなく、地域のクラブ活動で活躍しているメンバーで構成された女子チームです。

新体操チームのメンバーは5人。ロープを種目とした団体競技です。8月1日に北九州市で開かれた県大会で初優勝を飾り、初の九州大会出場を決めました。

一方、体操チームのメンバーは3人。跳馬、平均台、ゆかの3種目で、個人の自由演技の合計得点で順位を決定する団体競技です。7月31日～8月1日に福岡市で開かれた県大会で2位となり、昨年に引き続き2回目の九州大会出場を決めました。

新体操チーム主将の山田朱音（あかね）さん（2年）は「九州大会でもノーマスで演技をして、全国大会に行きたいです」。体操チーム主将の石松奈珠（なみ）さん（2年）も「けがとミスをしないうに、みんなで自分たちの力を発揮して全国大会に行きたいです」と意気込みを話してくれました。

久芳教育長は「九州大会出場おめでとうございます。一生懸命努力すれば結果につながると思っています。九州大会では、会場の雰囲気にも負けないよう、力を発揮してください」と選手たちを激励しました。

【結果報告】8月7日～同8日（新体操）と同10日～同12日（体操）に宮崎市で開かれた九州大会で、新体操チームは4位、体操チームは7位と健闘しました。

問い合わせ先 城山中学校 ☎(32)3039

日本歯科情報センターは、インプラントや入れ歯に関するお悩み
ご相談に無料でお答えしております。

インプラントって結局いくらかかるの？ 信頼出来る医院の選びかたは？ えっ!?インプラントも種類があるの？

資料・DVD 無料進呈中!
WEBにもインプラントに関する情報が満載!
J-DIC 検索

安心してご相談ください(通話料無料) **年間相談数約5700件** 歯科選びの基準 治療費の目安 痛みの有無 治療の期間 等

0120-07-2418 (月～土)9:00～18:00 PHS、携帯電話可

日本歯科情報センター
 〒810-0001 福岡市中央区天神2丁目4-5